平塚市民病院

地域医療支援病院　災害拠点病院　地域がん診療連携拠点病院

広報誌

Vol.56
Autumn 2026

私たちは、市民の健康を守り、地域医療に貢献します

SMILE!

～毎日笑顔で～　スマイル



特集　✨痛みを和らげ、自分らしい出産を✨
和痛分娩をおこなっています　1 2

診療紹介 子どもの形成外科手術 Vol.1　3
新たに着任した医師を紹介します　4
命を繋げる最前線に潜入! キッズ病院お仕事体験2026を開催　5
健康スマイルレシピ Vol.18　6
お知らせ　「がんゲノム医療連携病院」の指定を受けました
Webで紹介予約の申し込みができます
市民病院講座について　7

あったかひらつか

特集

✨痛みを和らげ、自分らしい出産を✨

和痛分娩をおこなっています

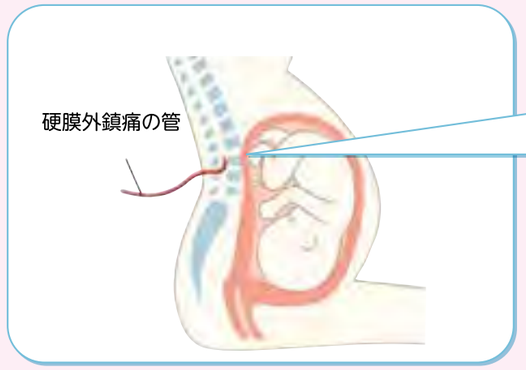
「出産の痛みが不安」というお母さんたちの声に応え、**経産婦さん**を対象に**和痛分娩**をおこなっています。当院ならではの安全・安心な医療体制のもと、妊婦さん一人ひとりに寄り添ったサポートをします。

【和痛分娩って?】

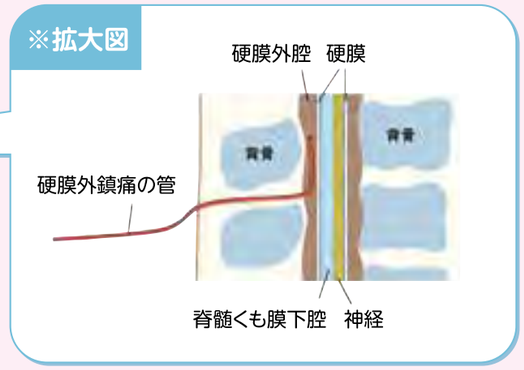
背中（硬膜外腔）に細いチューブを入れ、麻酔薬を注入することで陣痛の痛みを和らげる出産のスタイルです。「完全な無痛」ではなく、「強い痛みをコントロール（軽減）」します。

なお、無痛分娩も痛みが全くないわけではなく、和痛分娩との医学的な定義の違いは明確ではありません。当院では和痛分娩の名称を用いています。

【硬膜外麻酔の仕組み】



※拡大図



©日本産科麻酔学会

【和痛分娩の特徴】

痛みの軽減：強い痛みを軽減することで、リラックスして出産に臨めます。

母体の意識確保：赤ちゃんの誕生の瞬間や誕生後の抱っこ（カンガルーケア）も体験できます。

体力の温存：産後の疲労を軽減し、スムーズな育児のスタートを後押しします。



【安心の体制】



「周産期チームによる万全の連携」

麻酔科医・産婦人科医・小児科医・助産師が連携し、お母さんと赤ちゃんの状態を常に見守りながら安全に配慮します。迅速なケアが必要となった場合でも、24時間体制で対応可能な環境が整っています。



【スタッフからのメッセージ】



陣痛の痛みに対する不安は誰しも抱えるものです。
和痛分娩は、痛みをゼロにするものではなく
『我慢できる程度に和らげる』お産です。
お母さんが笑顔で赤ちゃんと出会えるよう、
スタッフ一同心を込めてお手伝いします。
ぜひご相談ください。





【和痛分娩を希望される方へ】

当院の和痛分娩は計画分娩になります。より安全に分娩を行うため、現在対象となる方を、一定の条件を満たす方（合併症のない経産婦の方など）に限らせていただいております。

希望される方は、産婦人科外来（新館地下1階02ブロック）へご相談ください。

診療紹介
形成外科
Vol.1

子どもの形成外科手術
～安心して治療していただくために～

形成外科　医長　梶中　快

　小児病院での治療経験を活かして、きずの治療から合指・多指症や耳の形成等の専門性の高い治療まで幅広く対応しています。
　全身麻酔の場合になるべく小児麻酔専門医が対応するようにしているほか、術中だけでなく手術前後のケアにも配慮しています。

多指症等



きず・きずあと



　局所麻酔の適応は、10～12歳といわれていますが、その子の性格や手術の内容によってできるかどうかは大きく変わります。当院では次のような取り組みを行っています。

局所麻酔での手術中の不安や苦痛を減らす対応

- 保護者立ち会いでの手術
- 術中に好きな音楽をかける
- タブレット等を持ち込み、動画をみながらの手術

全身麻酔での心身への負担を減らす対応

- 食事、飲水を制限する時間の緩和や持ち込み食の許可
- 保護者同伴での手術室への入室
- 可能であれば、吸う麻酔（吸入麻酔）が効いてから点滴の針を刺すなどの苦痛の緩和

　術後の子どもたちやご家族が「やってよかった」と思える治療を提供できるように日々取り組んでおりますので、ご相談ください。

形成外科における手術について詳しくは当院HPもご覧ください!

新たに着任した医師を紹介します

令和８年９月以降、新たに着任した医師を紹介します。
どうぞよろしくお願いします!



青木（あおき）　大祐（だいすけ）
消化器内科　医師



進藤（しんどう）　淳也（じゅんや）
小児科　医長



堀内（ほりうち）　悠生（ゆうき）
外科　医師



大河内（おおこうち）　正太郎（しょうたろう）
外科　医師



宇田川（うだがわ）　大輔（だいすけ）
消化器外科　医長



山邉（やまべ）　健太朗（けんたろう）
心臓血管外科　主任医長



長谷川（はせがわ）　奏（かなで）
産婦人科　医師



久保川（くぼかわ）　慎子（まこ）
産婦人科　医師



福本（ふくもと）　鴻一（こういち）
放射線診断科　医師



中村（なかむら）　伊吹（いぶき）
救急科　医師

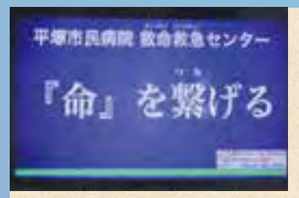


今岡（いまおか）　陽一朗（よういちろう）
脳神経内科　医師



中山（なかやま）　雄二（ゆうじ）
病理診断科　医師

“市民の健康を守り、地域医療に貢献する”医療を提供します。



命を繋げる最前線に潜入！
キッズ病院お仕事体験2026を開催

7月25日（土）に、小学校４年生から６年生を対象とした体験イベントを病院内で開催しました。子どもたちは救急医療の現場に潜入し、本物の医療機器に触れました。真剣な眼差しで医療の仕事を学んだ、熱気あふれる一日の一部をレポートします。



体験レポート1



◆一刻を争う現場を体感! ヘリポートでの患者搬送

普段は入れない屋上のヘリポートへ！

実際にヘリコプターから患者さんを迅速に救急搬送する「360度映像」を視聴。様々な職種が連携して命を繋ぐ現場の様子を、子どもたちは真剣に見入っていました。

体験レポート2



◆命を支える最先端 「ECMO（エクモ）」に触れる



重症患者さんの呼吸と心臓を助ける「ECMO」を見学。チューブを流れる脱血（体から血を抜くこと）と送血（体に血を戻すこと）を水で再現し、実際の水圧を触って体験しました。想像以上に水の勢いが強く、子どもたちは驚きの声を上げていました。



体験レポート3



◆力いっぱい挑戦! 心肺蘇生&AED体験

訓練用の人形を使い、心臓マッサージとAEDの使い方を学びました。「もし目の前で人が倒れていたら…」を想定し、小さな体で一生懸命に体重をかけて、『命』を繋げる体験をしました。

⬅参加者が描いた実際の様子です!

参加した子どもたち・保護者の声

「AEDは身近にあるけど簡単に触れたりできない。急に何か起きた時に経験を活かしたい」（小4）

「心臓マッサージはコツがいるから大変だけど『命』を繋げるのに大切なことだと分かった」（小4）

「子どもが思ったより上手にできていてビックリ。手先が器用なのかなと発見があった」（保護者）

「（体験を）経験したことで看護師に憧れの気持ちが芽生えた（子どもに）」（保護者）

子どもたちの未来をつくるため、今後も取り組んでいきます！

キッズ病院お仕事体験については、病院ホームページをご覧ください。

健康スマイルレシピ Vol.18

当院の管理栄養士監修!
健康の達人たち 院内の減塩リーダーに聞きました!

管理栄養士：古屋久美子

当院には患者さんの治療や看護に努めながら、自らの健康管理に余念のない「健康の達人たち」がいます。今回のテーマは減塩。減塩に取り組む患者さんと多く接する部署の達人たちが日ごろの取り組みを紹介します。

あなたの「減塩」教えてください。

日本人の食塩摂取目標量（1日当たり）
● 男性 7.5g ● 女性 6.5g ● 減塩が必要な方 6.0g(未満)

栄養科部長
葉副病院長



サラダには何もかけません。ドレッシングを使うと野菜の味がわからなくなっちゃうからね。

Good!
上級者ですね!レモン汁やオリーブオイルはかけても無塩ですよ。

栄養科イチの減塩実践者
菅谷管理栄養士

納豆のたれや焼きそばのソースなど添付の調味料は半分を目安に使います。



Good!
日本の標準の味から、2〜3割の減塩が目標なので、添付調味料を残せるのはGOOD☆

青木慢性心不全認定看護師

スーパーやコンビニで栄養成分表示の食塩相当量を見ています。



Good!
表示は大切です。このくらいの塩分かな?と想像してから見ることで減塩力が強化されますよ!

有我透析看護認定看護師

カップラーメンが大好きですが、食塩4.5g（麺2.2g、スープ2.3g）スープは飲み干さないように注意しています!



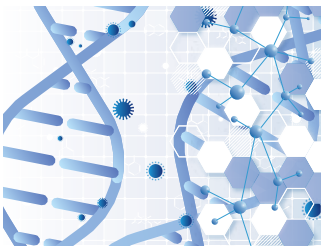
Good!
さすがです!麺類の汁を残すのは鉄則ですね。

参考になりましたか？みなさんも毎日コツコツ減塩生活はじめてみましょう。



お知らせ

「がんゲノム医療連携病院」の指定を受けました



当院では、東海大学医学部付属病院と連携し、令和８年10月1日付で厚生労働省から『がんゲノム医療連携病院』の指定を受けました。

『がんゲノム医療』とは、患者さんのがんの遺伝子を調べ、一人ひとりのがんの特徴にあった治療方法を検討するものです。

がんの治療は、患者さんによって効果が期待できる薬や治療方法が異なります。ゲノム情報を治療に活用することで、よりその人に合った治療につながることが期待されています。

今後も、急性期機能を担う病院として地域の皆様に質の高い医療を提供するとともに、患者さん一人ひとりに寄り添ったがん医療の提供に努めてまいります。

Webで紹介予約の申し込みができます

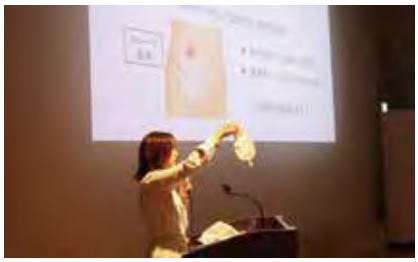


紹介状をお持ちの患者さんのみとなります。

ご予約方法

当院HPまたは右の二次元コードからご利用いただけます。
ご予約には「紹介状」と「メールアドレス」が必要です。

市民病院講座について



地域の皆様が気軽に参加いただける講座を開催しています。
病院や医療について知識を深めていただけるよう、当院の専門医やスタッフが分かりやすくお話しします。

開催済みの講座の動画を病院ホームページで公開していますので、ぜひご覧ください。

交通アクセス・地図

□**路線バス・コミュニティバスをご利用の方は、当院ホームページをご覧ください。**

詳しくはこちらから

□**外来駐車場（有料）**

[利用時間] 午前7時00分～午後7時30分

[料　　金] 外来患者…入場後30分無料、同90分100円、以降すべて200円

一　　般…入場後30分無料、同90分100円、以降1時間ごとに100円加算（面会含む）

交通系電子マネーでの支払いが可能です。

※午前は大変混雑しますので、できるだけ公共の交通機関をご利用ください。



Hiratsuka City Hospital
平塚市民病院
救命救急センター　災害拠点病院　地域医療支援病院
地域がん診療連携拠点病院

〒254-0065 神奈川県平塚市南原1-19-1
TEL：0463-32-0015　FAX：0463-31-2847
URL：https://www.hiratsuka-city-hospital.jp

初診受付時間：午前8:30～11:00（初診及び予約外の方）
休診日：土曜日・日曜日・祝日 年末年始（12月29日～1月3日）